3月の院内集会を下記の通り開催します。
●日時：3月29（木曜）日　11-13時
●会場：参議院議員会館一階102号室
●テーマ：「福島原発事故に伴う低線量被ばくの実態と被ばく影響評価の現状」
●講師：国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
　　　　　神田玲子/放射線防護情報統合センター長

日本学術会議臨床医学委員会放射線防護・リスクマネジメント分科会の 審議結果報告（2017/9/1公表）「子どもの放射線被ばくの影響評価」で報告書作成の幹事を務められた神田玲子/放射線防護情報統合センター長に、この報告を踏まえて「福島原発事故に伴う低線量被ばくの実態と被ばく影響評価」につきお話しいただきます。

福島の復興は、被災者のふるさと帰還がどこまで進んでいくかにかかっており、その成否は被災地福島の原発事故に伴う放射能汚染どこまで和らいでいるかに大きく影響されます。そうした観点から、「被ばく実態」の客観的把握を目指し、以下のテーマで４回の院内集会を行います。3月の院内集会はその一回目です。

第１回　子どもの放射線被ばくの影響評価（その１）
＜日本学術会議報告の概要・要点＞
第2回　福島県の農産物、魚介類の放射能の実態（その１）
＜「水・食品等の放射性物質検査」結果＞
第3回　福島県の農産物、魚介類の放射能の実態（その２）
＜加工食品、学校給食、一般家庭の食事、家庭で育てた野菜等の自主検査の結果＞
第4回　子どもの放射線被ばくの影響評価（その2）
＜いわき放射能市民測定室【たらちね】の活動成果など＞

福島原発行動隊事務局